



# つくしだより

令和3年8月号

東京都精神保健福祉家族会連合会

(東京つくし会)

〒156-0056 世田谷区八幡山

3-33-1 林マンション301

TEL/FAX:03-3304-1108

http://www.ttsukush.sakura.ne.jp/

発行者 眞壁 博美

2021.8.15 第373号

みんなねっと東京大会のご案内

都連副会長 轡田 英夫

この10月に東京でみんなねっとの全国大会が左記の要領で開催されます。今までの例ですと、旅行者等に事務作業等を依頼して開催していたのですが、今回は経費の削減の為、大会実行委員会(東京つくし会理事等)が中心になって、企画・運営だけでなく、事務作業等も行っています。

## 【全体会】

〔日時〕10月7日(木) 11時～

16時45分

〔会場〕調布市文化会館「たづくり」

〔交通〕京王線調布駅中央口4分

〔参加方法〕会場又はオンライン参加

## 【基調講演】

〔講師〕白石弘己氏

〔テーマ〕当事者・家族が生きいきと地域で暮らしていくために医療・地域の連携

## 【特別講演】

〔講師〕齋藤正彦氏(都立松沢病院名誉院長)

〔テーマ〕首都東京の精神医療を考える～都立松沢病院の取組

## 【分科会】

〔日時〕10月8日(金)

〔会場〕赤羽会館

〔交通〕JR赤羽駅東口5分

地下鉄南北線 赤羽岩淵駅10分

〔参加方法〕会場参加のみ

〔午前〕10時～12時

## 【分科会1】

〔テーマ〕地域づくりと地域移行・地域生活支援体制を考える

〔助言者〕伊澤雄一氏(はらからの家福祉会理事)

## 【分科会2】

〔テーマ〕精神疾患からの回復をどう支援するか?就労支援を通して

〔助言者〕池淵恵美氏(帝京平成大学大学院臨床心理学研究科教授)

〔午後〕2時～4時

## 【分科会3】

〔テーマ〕なぜ子どもは暴力を振るうのか?暴力はどうしたら止むのか?

〔助言者〕蔭山正子氏(大阪大学大学院医学研究科教授)

## 【分科会4】

〔テーマ〕誰もが人生の主人公と子離れのススメ・親亡き後の準備

〔助言者〕増田一世氏(やどかりの里理事長)

## 【申し込み方法】

【一】郵便振替(会場参加のみ)

(加入者名) 東京つくし会

(口座記号) 00120-2-397862

(参加費) 一般(3千円)当事者(千円)

(参加区分) 全体会 分科会名

参加者の住所 氏名 電話番号を記入

【二】インターネット申込

(会場参加・オンライン参加サイト)

https://minanet2021.peatix.com

【三】全体会のみオンライン参加

(対象者) 学生・支援者等限定

(参加費) 千円(大会資料・DVD無し)

◎【一】【二】の参加者全員に、大会

資料と、全てを記録したDVDをお

送りします。【三】にはありません。

【四】申込締切 9月6日(月)

## 【問い合わせ先】

東京つくし会 03-3304-1108

今回の開催に当たりましては、各単会の協力が必要となりますので、以下のご協力をお願い致します。

## 【ボランティア】

〔調布会場〕多摩ブロックの単会

〔赤羽会場〕23区ブロックの単会

を中心に単会1名程度の参加をお願いします。参加費・交通費は各単会で、昼食は実行委員会が負担します。

【寄付金】 ブロック会議で、各単

会一万円の寄付をお願い致しました。

専用振込用紙で振込をお願いします。

皆さんの協力のもと、是非東京大

会を成功裡に終わらせましょう!!

## 2022年度東京都予算要望について

7月28日に要望書を提出しました

都連副会長 植松和光

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、精神障がい者及びその家族は日々大変な状況におかれています。

そんななかで、来年度東京都予算の編成にあたり要望をいたしましたのでその概要をお知らせします。

### 重点項目

#### 1 アウトリーチ（訪問診療）拡充で精神科医療に繋げてください

アウトリーチ事業については都道府県、政令指定都市、東京都特別区、中核市が実施することになっています。東京都の現状は都立精神保健福祉センター及び世田谷区、練馬区、豊島区並びに中核都市である八王子市が実施しているのみです。次のことを要望します。

(1) すべての都立保健所管内にアウトリーチ事業所を複数個所設置してください。

(2) 23区でアウトリーチ事業の未実施の区に東京都から支援を行ってください。

(3) 都立精神保健福祉センターのアウトリーチ事業を充実してください。

#### 2 思春期における精神疾患の早期発見で教育の保障をしてください

(1) 精神疾患を予防する教育と早期発見のための啓発パンフを中学2年生に配布して

ください。

(2) スクールカウンセラーの充実と新たに複数の精神保健福祉士の配置と全教職員への研修の実施をお願いします。

(3) 小学校、中学校への精神保健教育の導入

2022年度から使用する高校の新学習指導要領の保健体育に「精神疾患の予防と回復」の項目ができ、「精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であること」と盛り込まれました。東京都においては、高等学校だけではなく小学校、中学校においても是非、授業の中に同様の内容を取り入れてください。

#### 他の重点要望項目

##### 1 障害者差別解消条例の普及啓発

障がい者の人数約80万人（平成31年3月末現在障害者手帳交付人数）です。相談者数はわずか0.001%です。今後、更に普及啓発する必要があります。そこで次のことを要望します。

(1) リーフレット・パンフレットの増刷と配布

現在、都で発行している「みんなで支え合うととも生きる東京へ」等の増刷配布をお願いします。

(2) 子どもたちへの差別解消の啓発活動を積極的に行ってください。特に、小学校からの障害理解を深めるための取組みが必要です。市区町村教育委員会への働きかけをお願いします。

##### 2 家族会活動への支援について

家族会活動は、広範な都民の精神保健福祉に関する声を反映する社会的な活動であります。是非、事務所の運営について他県と同様に都立精神保健センター等を使用させてください。

他県連家族会事務所は26県で県立精神保健センター等の中にあり使用許可を受け活用しておりません。また、使用許可ができない場合は家賃の補助をお願いします。

##### 3 重度心身障害者医療費助成制度（マル障）を2級手帳所持者も対象にしてください

マル障については、東京都の施策により精神障害者にも平成30年1月から精神保健福祉手帳1級所持者も対象になりました。この制度のおかげで約6000名の当事者が制度を利用し治療を受けることができました。精神障がい者の健康と命、暮らしを守るためにも当面精神保健福祉手帳2級所持者をマル障の対象者にしてください。



## 『西多摩の精神医療と家族会活動』

都連副会長 中住 孝典

### ◆地域特性

西多摩のエリアは青梅市・羽村市・福生市・あきる野市・瑞穂町・奥多摩町・日の出町・桧原村の4市3町1村です。東京都の北西部に位置し山梨県・埼玉県と隣接し東京の奥座敷ともいわれています。東京都の面積の25%を占めていますが人口は3%にとどまっており過疎の山間部と人口の集中地区が混在する地域です。都心と比較し緑多い環境にあり多摩川の上流域ですから自然環境にも恵まれ、空気がおいしい暮らしやすい地域かもしれません。残念なことにドラマなどの殺人事件の現場（「奥多摩くく殺人事件」など）によく使われるのも青梅・奥多摩です。このように風光明媚な地域です。

### ◆精神医療の状況

西多摩地域は東京の精神医療の縮図を反映した地域といえます。（東京都福祉保健局・H28・10・1現在）東京の全精神科病床数22、412のうち約一割2、615床を西多摩地域が担っており八王子に次いで東京で2番目に精神科病院の多い地域です。驚くなかれこれを人口万対病床数で見ると215.8床となり東京で一番人口割合に対する精神科ベッド数の多い地域となります。東京で一番ということは世界で一番ということです。こんなにも多くの精神科のベッ

ドが果たして必要なのでしょうか。日本の精神科病院は民間主導ですからベッドを開けたままにしておけません。都内の病院で長期化を余儀なくする患者さんが西多摩地域の精神科病院に転院しそこでまた長期化が続くという流れも一方ではあります。西多摩地域の精神科病院が都内の精神科病院の後方的機能を果たしているという構図もあるように思います。精神科のベッドを少なくしてそこにかかる医療費を地域の生活支援対策・マンパワー充実に回すことが精神障害者の地域移行・定着そして地域包括ケアシステムの推進に欠かせないものと思われれます。精神科病院と地域は一体的な関係にあるのだと感じます。地域の生活支援体制が充実することが家族と当事者の関係改善、当事者・家族が生きいきと地域で暮らしていくことにつながるのだと思います。H16年度、多摩地域における東京都保健所は再編され多摩川保健所と秋川保健所が統合され西多摩保健所が西多摩全域の広域的、専門的な役割を担うこととなりました。この時も内部の保健師さんたちからも保健医療サービスの低下を招くとの危惧が上がりました。精神障害者支援は時間ときめ細かな個別対応が必要とされます。はからずも今、コロナの問題で保健所の機能強化・マンパワー強化の声が上がっています。昔と比べ保健所の保健師さんたちの顔が見えにくくなっています。生活支援には顔と顔の見える関係作りがとても大切となります。

### ◆家族会

西多摩地域の家族会は（青梅）「ほっと・スマイル」（福生・羽村・瑞穂）「FHMの会」（あきる野・日の出）「西多摩虹の会」（羽村）「スマイルの会」の4つの家族会があります。それぞれの家族会が例会やおしゃべり会、ピアカウンセリング、相談会などを行い地道な家族交流や啓発活動を行っています。私が所属している「青梅ほっと・スマイル」はFHMの会を見習い2年前から「家族による福祉相談会」を月1回開いています。市の広報を見てほぼ毎月必ず新たな相談が多い時は4〜5件という具合です。

それもどこにもつながっておらず途方に暮れて相談に来る方、保健所から紹介されてくる方など、潜在的に精神科の問題を抱えておられる方の多さを感じます。家族は支援を必要としています但同时に共感できる支援者でもあります。そこに家族会の存在意義も強くあります。そのことを精神保健福祉行政は強く認識し家族会支援を行い重要な社会資源の一つとして位置付けていく必要があります。西多摩地域は交通の便がことさら悪い地域です。ですから集まるにしても時には送り迎えをしながらみんなで助け合っつながりを作っていきます。家族会の高齢化が進む一方、家族会を必要としている新たな家族の存在も多くなります。西多摩地域のそれぞれの家族会も西多摩の家族会としてよりつながりや連携できる機会を作り大きな塊として支えあい時には地域に発信していく力を高めていききたいと思っています。

## ☆賛助会費☆ (敬称略)

錦糸町クボタクリニック	5000円
草地 玲子	2000円
柳沢クリニック	5000円
北千住旭クリニック	5000円
大倉診療所	5000円
土屋 米子	2000円
吉田 晴哉	2000円
匿名	2000円
宮本 里詩子	2000円
匿名	2000円
新小岩南口クリニック	5000円
くるみクリニック	5000円
戸島絹江	2000円
徳井記念五反田メンタルクリニック	5000円
松原 のり子	2000円
代々木の森診療所	5000円
幸仁クリニック	5000円
天下堂医院	5000円
石川クリニック	5000円
打浪 誉也	2000円
小島 頼子	2000円
板橋 仁	2000円
匿名	2000円
石井メンタルクリニック	10000円
にしの木クリニック	5000円

ありがとうございます。



## ☆講演会のお知らせ☆

※講演会はコロナウィルスの関係でやむなく中止・延期になる場合もありますので、お出かけの際は主催者にご確認下さい。

○9月16日(木) 13時30分～15時30分

「回復力を高める、関わり方の基本

「ご本人とご家族の間に見られる気持ちのすれ違いをどうしたら…」

講師 SSTリーダー 高森 信子氏

会場 高円寺障害者交流館 1階

予約不要

主催 杉並家族会 ☎080-1004-1197

○9月18日(土) 午後2時～4時

「こころの健康と統合失調症への対応

特に家族の対応の仕方を考える」

講師 元・七生病院院長 板橋 充氏

会場 ひの市民活動支援センター1階

講座室 申込不要

主催 日野いずみ会 ☎042-592-8993

## 編集後記

八月の空をながめている。

朝から雲ひとつない青空がつづいていく。

今日も暑さとの闘いが始まりそうだ。

いつの頃だったか。あれは50代の後半に入ったころ。

夏がくる、そう思ったただけでなんとなくわくわく、特に何かがまっているというわけでもないのに、胸が高鳴る。

毎年の恒例の行事のように。

ところがその年は違った。わくわくもしないしウキウキ感もない。

そのことを同僚に話した。その人はしみじみと私の顔を見て呆れたように言った。

「やっぱり、若いんですね」

「やっぱり」とはなんだ、とその時は思ったものだ。

そして同時に悟った。

もうあの日々は永遠にやってこないのだと。

いつも夏を迎えるとあのわくわく感に包まれていた頃を思い出す。

八月は やがて悲しき空と海

都連副会長 本田 道子

つくしだよりは赤い羽根共同基金の配分を受けて発行しています。